**－シンポジウム論文－**

**宇宙太陽発電サンプル†**

## Sample of Paper for Space Solar Power Systems

宇　宙　一　郎\*1‡・太　陽　花　子\*2

Ichiro UCHU and Hanako TAIYO

アブストラクトは和英併記．和文：200字程度．英文：100語程度．英文論文の場合は日本語の題目，著者名，アブストラクトは不要．○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○.

Abstract is ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○.

Keywords：keyword1, keyword2, ･･････

**1.　は　じ　め　に**

　これは，宇宙太陽発電に投稿する際の論文の見本です．論文執筆の際はできる限り見本に近い書式で作成していただきますようお願いいたします．このテンプレートファイルを編集して原稿を作成される場合は，様式が崩れないよう，十分に注意して活用ください．

**2.　書　　　　　式**

**2.1　原稿全体の書式**原稿全体の書式を第1表に示します．英文の場合も本テンプレートを利用してください．

第1表　原稿全体の書式

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 書式 |
| 用紙サイズ | A4判 |
| 原稿ページ数 | 2ページ以上，ファイル容量上限はおよそ5 MB |
| 余白 | 左右各約18 mm，上下各約25 mm |
| 言語 | 日本語または英語 |
| 字体 | 和文はMS明朝あるいは平成明朝英文はTimes-New-Roman |

**2.2　題目等の書式**題目等の書式を第2表に示します．題目等は2段組にしないでください．

行間は，題目間以外は約12～14 pt，題目間は約20 ptとして下さい．(行間はMS Wordなら，書式－段落から自由に変えることができます．)

1ページ目左下にあるように，既に発表済みの論文は日本語題目の終わりに上付きで†をつけてその情報を記載し，連絡著者(Corresponding author)には右肩に上付きで‡をつけ，Eメールアドレスを書いてください．著者名には，右肩に上付きで\*1，\*2等をつけ，所属を8 ptで書いてください．

第2表　題目等の書式

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 書式 |
| 第1行 | 第1行には左寄せで－シンポジウム論文－と，9 ptゴシック体で書くこと． |
| 題目 | 第1行目から2行空けて，14 pt太字で日本語題目（ゴシック体），改行，英文題目（ボールド体）と書くこと．中央揃え． |
| 著者名 | 英文題目から1行空けて，約10 ptで著者名，改行，英文著者名と書くこと．中央揃え．日本語著者名では，均等に空白を入れ，英文著者名の名字の2文字目以降はスモールキャピタル（8pt）とする．英語著者名では空白不要． |

† 第1回宇宙太陽発電シンポジウム，2015年12月15-16日，東京にて発表

‡ Corresponding author: Ichiro UCHU. E-mail:?????@??

＊1 宇宙太陽光発電研究所

〒000-0000　東京都□□□□□ 1-1-1,

SPS Labs., ○○○○○○○○○○○○, Tokyo 000-0000, Japan

＊2 宇宙太陽大学

〒000-0000　東京都□□□□□ 1-1-1,

University of Solar Power, ○○○○○○○○, Tokyo 000-0000, Japan

©SSPSS

|  |  |
| --- | --- |
| アブストラクト | 著者情報から1行あけて，約9 ptの和文，その後英文で記入．左寄せ．全角一文字分のスペースの後に続けてそれぞれ記入する．文字間隔はなるべく詰めるように． |
| キーワード(英語または日本語) | アブストラクトから1行空けて，約9ptで記入．中央揃え．太字のキーワード，**Key Words:**の後に記入する．2～5つ程度． |

* 1. **本文の書式**　本文の書式を第3表に示します．

本文はキーワードの後1行空行を入れた後，2段組で書き始めてください．文字サイズは約9 ptとし，行送りは約13.5 ptにしてください．1行の文字数は1段26文字，51行程度になるはずです．

セクション，サブセンクション共に，番号と番号の後のピリオドには半角を用い，全角の空白を1文字分入れてからタイトルを書いてください．

新しい段落に入るときには，先頭に全角空白を1文字分入れてから，本文を書き始めてください．

基本的には数字は半角を用いるようにして下さい．また句読点は、。ではなく，．を用いてください．

記号の説明がある場合は最初に書いてください．その際，セクションタイトルは記号の説明とし，セクション番号はつけないで下さい．

第3表　本文の書式

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 書式 |
| 文字サイズ | 約9 pt |
| セクションタイトル | 9 ptゴシック体で中央寄せとする．2行取りの真中に入れて下さい．セクションタイトル前後に1行の間隔をあける． |
| サブセクションタイトル | サブセクションタイトルの前に1行の間隔をいれ，9 ptのゴシック体で，全角の空白を1文字分入れた後に書くこと．その後の本文は，サブセクションタイトルの後に全角の空白を1文字分入れてからはじめること． |

　**2.4　引用文献**引用文献は論文末尾にまとめて書いてください．その際は，参考文献という，番号のないセクションに書いて下さい．引用の際，本文中では1)，1,2)あるいは2～4)等の様に書いてください．末尾引用文献記載例を以下に示します．フォントの大きさは8ptとして下さい．参考文献の行間は10 pt程度にして下さい．

参考文献の例では1)と12)の ) を揃えるようにして下さい．巻数はボールド体とし，ページ番号は巻についての通しページ番号がある場合には，そのページ番号を記してください．

**3.　図，表および数式の取り扱い**

図は見えにくくならないように，大きさに注意をして下さい．図のキャプションは

第1図　図の説明 (和文の場合）

Fig. 1　Figure caption.（英文の場合）

の様にし，第X図の後に全角空白を1文字入れて図の説明を書いて下さい．図のキャプションは図の下中央に配置してください．

表のキャプションは表の上中央に配置してください．

第1表　表の説明 (和文の場合）

Table 1　Table caption.（英文の場合）

の様にして，図のキャプションと同じように，「第X表」の後に全角空白を1文字入れて表の説明を書いて下さい．



第1図　USEF モデル

キャプションの文字サイズは図，表共に8 ptを用いるようにして下さい．また，表中のフォントサイズは8 ptとし，行間は12 pt程度としてください．

図表共にキャプションは必ず和文にしてください．

　数式は，全角の空白2文字分入れてから書き，必要に応じて数式番号を右端から全角一文字分左に付けて下さい．フォントの大きさは約9 ptとし，なるべく本文に揃えるようにして下さい．

 (1)

このように本文と独立している場合でも，*CD*，**(*z*)のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成します．数式や数学記号の品質が悪いと版下原稿として受け付けません．数式と本文との間も空き過ぎないように上手く調節して下さい．なお参考文献リストのあとに1行空けて，原稿受理日を記載します．ただし，最初の投稿原稿を用意していただく時点では，ここに?マークを挿入してください．

**参　考　文　献**

1. 宇宙太陽発電執筆要綱, 宇宙太陽発電, **47** (1999), pp. 319-322．
2. 宇宙 太郎, 太陽 花子: 参考文献の例, 第129回参考文献講演会講演集 (1999), pp. 147-150.
3. Hainds, F. D. and Keyes, J. W.: Shock Interference in Hypersonic Flows, *AIAA J*., **10** (1972), pp.1441-1447.
4. Batchelor, G. K.: *An Introduction to Fluid Dynamics*, Cambridge University Press, London (1967), pp. 580-593.

(2015. 12. 25 受付)

最後のページはテキストボックスなどを用いて2段並行止め(左と右の段でそろえて終わる)にしてください．